

JICA(ジャイカ)について

独立行政法人 国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency: JICA) は、日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力 (技術協力、無償資金協力、円借款、青年海外協力隊、国際緊急援助等) を行っています。

JICA 専門家チーム プロフィール

チーフアドバイザー



小原 博

(OHARA Hiroshi, MD PhD)

ベトナムバックマイ病院プロジェクト・チーフアドバイザー、ベトナム保健省政策アドバイザー、モンゴル医療従事者のための卒後研修強化プロジェクト・チーフアドバイザー、国立国際医療研究センター国際医療協力局連携推進課長、長崎大学客員教授等。東京大学大学院医学系研究科博士課程 (内科学) 修了。ベトナム政府より 国民の健康功労勲章、モンゴル政府より名誉勲章受章。

感染管理・看護管理



黒須 一見

(KUROSU Hitomi, RN CNIC MS PhD)

東京都立清瀬小児病院、東京都保健医療公社荏原 病院、国立国際医療研究センター国際医療協力局 客員研究員等。日本看護協会看護研修学校認定 看護師教育課程感染管理学科修了。東京医療保健大学大学院修士課程修了、同大学院博士課程 (感染制御学) 修了。日本環境感染学会理事。

医療安全・看護管理



森山 潤

(MORIYAMA Jun, RN MSN)

国立国際医療研究センター集中治療室・救急部、厚生労働省東北厚生局医事課 (医療課 併任)、国立国際医療研究センター国際医療 協力局研修課等。国立看護大学校研究課程部修士課程 (看護情報・看護管理学) 修了。

【プロジェクト期間】

2016年12月からチョーライ日越友好病院完成後
約2年程度

【プロジェクト目標】

チョーライ病院※1 とチョーライ日越友好病院※2 が患者中心で質の高い医療サービスが提供できるよう強化される。

【成果】

1. 患者安全管理対策、多職種連携およびクリニカルパスの効果的な運用により、チョーライ病院及びチョーライ日越友好病院における患者中心で質の高い医療サービスが強化される。
2. チョーライ病院及びチョーライ日越友好病院において、抗菌薬耐性 (AMR) 対策を含む医療関連感染管理の対策が強化される。
3. チョーライ病院とチョーライ日越友好病院による DOHA※3 管轄の省病院の患者安全、安全な患者の搬送、感染管理を強化する能力が高まる。

※1 チョーライ病院： (PDM Version 1, 2017年10月改定)

1975年、日本の無償資金協力により現在の主要病棟建設。
病床数：1,930床 外来患者：5,500人/日
医師数：872人、看護師数：1,668人 (2018年7月現在)

※2 チョーライ日越友好病院：

日本の円借款により建設予定。
地上10階、約1,000床
予定地：Le Minh Xuan, Binh Chanh District, HCMC

※3 DOHA (Direction of Healthcare Activities):

上位病院が下位病院を指導・支援するしくみ。チョーライ病院が担当する対象病院は保健省により定められている。

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

チョーライ病院向け病院運営・管理
能力向上支援プロジェクト



Office: 10F, Block D, Cho Ray Hospital,
201B Nguyen Chi Thanh, District 5, Ho Chi Minh City, Viet Nam
Tel: 028 3620 5032
E-mail: chorayjica@gmail.com
ホームページ: <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/044/>



JICA 技術協力プロジェクト

チョーライ病院向け病院運営・管理 能力向上支援プロジェクト

PROJECT FOR IMPROVEMENT OF
HOSPITAL MANAGEMENT COMPETENCY



チョーライ病院



チョーライ日越友好病院 (イメージ)

独立行政法人 国際協力機構

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

1. 患者安全

1-1 患者安全を担う人材の育成

各部署に1名以上、患者安全を担う人材を育成し、患者安全意識の向上を図り、医療事故を防ぐための能力を強化します。

1-2 多職種によるチーム医療の導入

医師、看護師、薬剤師、リハビリなど多職種からなるチーム医療を導入し、質の高い医療を効率よく提供する仕組み作りに取り組みます。

1-3 クリニカルパスの導入

病気ごとの治療や処置に関する標準的な過程をまとめたクリニカルパスの作成を支援し、安全な医療の提供を促進します。



医療安全
ポケットマニュアル
の作成・配布



患者安全担当者養成研修



チーム医療の推進



感染対策担当者養成研修

2. 院内感染対策

2-1 院内感染対策を推進する人材の育成

各部署に1名以上、感染対策を推進する人材を育成し、院内感染対策に関する意識の向上を図り、院内感染対策能力を強化します。

2-2 基本的な感染対策の強化と医療器具感染対策および手術部位感染対策の推進

手指衛生などの基本的な感染対策を推進し、人工呼吸器関連肺炎対策や手術部位感染対策等に取り組み、院内感染の低減を図ります。

2-3 抗菌薬適正使用に向けたコンサルタントの育成

抗菌薬適正使用に向けたコンサルタントチームを結成し、トレーニングを実施し、病院全体における抗菌薬の適正使用を目指します。

2-4 遺伝子解析が可能な機材の導入と人材の育成

院内感染の原因を特定するための遺伝子解析機器(シーケンサー)を導入し、機器を取り扱う人材および解析結果を判定する人材を育成します。



院内感染対策委員会



検体採取
ポケットマニュアル
の作成・配布

3. チョーライ病院による南部省病院への支援能力の強化

3-1 臨床教育のためのマニュアル改訂

チョーライ病院による省病院に対する臨床教育のためのマニュアル類を改訂することで、より最新の知識や技術を省病院にも伝達することを支援します。

3-2 省病院における患者安全、安全な患者の搬送、感染管理の強化

チョーライ病院のDOHA管轄の省病院を対象に、患者安全、安全な患者の搬送、感染管理についてのセミナーをチョーライ病院において実施します。



DOHAセミナーの開催



血液疾患に関する
テキスト改訂



アンザン省循環器病院で現地調査



第二回プロジェクト合同調整委員会 (2018年11月)